

指定管理施設モニタリングチェックシート

（令和4年度 年間(4月～3月) の管理運営状況）

施設名	平戸市切支丹資料館	指定管理者	一般財団法人平戸市振興公社
指定期間	令和2年4月1日から令和6年3月31日	担当課	観光課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画(A)	実績(B) (モニタリング時)	対計画比較 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数(日)		309	308	99.7
	延べ利用者数(人)		4,300	3,186	74.1
	事業開催回数	必須事業(回)			
		自主事業(回)	1	1	100.0
収支状況	収入	指定管理料(円)	2,969,000	2,996,613	100.9
		利用料収入(円)	800,000	536,578	67.1
		自主事業収入(円)	0	60,500	0.0
		その他の収入(円)	71,000	34,673	48.8
	収入計(円)		3,840,000	3,628,364	94.5
	支出	人件費(円)	2,383,000	2,401,739	100.8
		維持管理経費(円)	538,000	526,081	97.8
		自主事業関係経費(円)	0	14,960	0.0
		その他の支出(円)	919,000	749,734	81.6
	支出計(円)		3,840,000	3,692,514	96.2
収支(収入-支出)(円)		0	△ 64,150		

指定管理者の自己評価(改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 開館日数は、GW期間中の休館日(5/4)を臨時開館したものの、9月に、台風により、2日間臨時休館を行った為、年間計画より1日減となった。入館者数は、予算からは約1,100人減となったものの、市のドライブキャンペーン等の効果もあり前年度から約1,000人増となった。</p>	<p>【事業の実施状況について】 開館40周年記念事業として、3月4日に、記念式典やイベントを地域の小中学生やコーラスグループなどの協力を受け、根獅子・飯良まちづくり運営協議会と共催で実施した。また、3月にはこれまでお世話になった地域の方々への感謝を込めて、昔(昭和)の根獅子地区の写真や映像を集めた企画展に、無料で招待した。</p>	<p>【収支状況について】 入館者数は回復傾向にあるものの、電気料金をはじめとする物価高騰や最低賃金の上昇の影響により赤字となっている。</p>
--	--	---

所管課の評価(指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 災害以外は計画通り開館できていた。利用者数については、令和3年度実績2,157人より約1,000人増えており、コロナ禍前の令和元年度実績3,689人に迫っている。</p>	<p>【事業の実施状況について】 コロナ禍の中でも節目となる開館40周年記念事業をやり遂げ、利用者数を伸ばす施策を行った。</p>	<p>【収支状況について】 入館料収入は令和3年度実績400,269円と比較して回復傾向にある。自主事業である売店事業も実施しており、赤字改善に努めている。</p>
---	--	---

2 チェック項目

評価項目・評価事項(数値目標)		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
	利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	○適正・要改善	○適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適正津であり、市への通報体制が整っている。	危機管理マニュアル	○適正・要改善	○適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の整備業務など利用者への安全対策が講じられている。	実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	○適正・要改善	○適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	○適正・要改善	○適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	○適正・要改善	○適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	○適正・要改善	○適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	○適正・要改善	○適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	○適正・要改善	○適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	○適正・要改善	○適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	1人 人員配置計画、実地、出勤簿	○適正・要改善	○適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	随時 研修マニュアル	○適正・要改善	○適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	% 人員配置計画	○適正・要改善	対象外施設である
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	○適正・要改善	○適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	○適正・要改善	○適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	○適正・要改善	○適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ごみの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正・要改善

※評価基準

「適正」:その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」:その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見(改善点、その他特記事項)

昭和57年に開館した切支丹資料館が開館40周年という節目を迎えるにあたり、地域のまちづくり協議会と連携し事業が実施出来たことで、館の根獅子地域での存在価値を改めて周知できる良い機会となった。地域との交流は、今後の資料収集の上でも欠かせない事項であり、次年度以降も継続していく必要があると考えている。

一方、施設運営の点では、入館者こそ、関東方面からの修学旅行の復活や、韓国をはじめとするインバウンドの回復傾向など、明るい材料が見えてきた一方で、電気料金の大幅上昇をはじめとする物価高騰や賃金の上昇の影響が大きく、これまで以上に経費節減に努めていく必要を感じている。

所管課による所見(指摘事項など)

令和4年度の利用者数は、令和元年度と比較すると、令和2年度36.1%、令和3年度52.5%、令和4年度86.4%と順調にコロナ禍前の実績に戻りつつある。

根獅子まち協との共済事業として開館40周年記念イベントを行うなど、アピールに務めた。

令和5年度は世界文化遺産登録50周年の記念イベントを実施すると計画しているとのことなので、感染対策を行いながら、安全な管理運営に努めていただきたい。